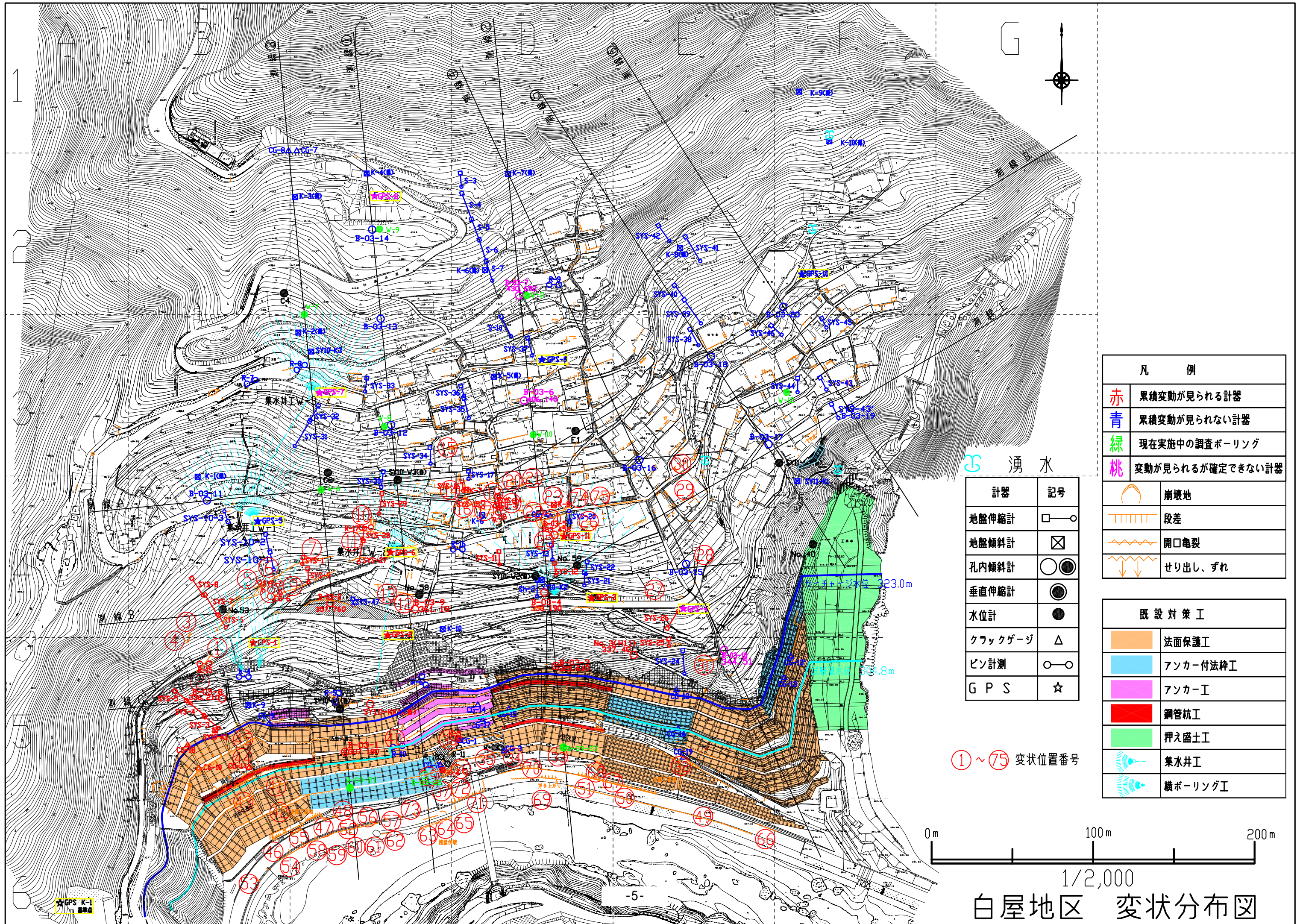


. 観測データの確認		
事 項	要 点	備 考
1. 亀裂及び変状分布状況	<p>(1) 亀裂集中箇所の状況            前回までの委員会で確認された村道付近の上下を中心に民家の床下や畑地などの地山で確認された亀裂が進行し、段差や開口度が大きくなり、亀裂集中箇所が帯状に連続することがより明確になった。</p> <p>(2) ダム貯水位維持期に水没していた法面工の変状            ダム貯水位低下とともに法面工の変状が明らかとなった。下流側縦水路付近を中心として法枠工の梁に開口亀裂や小段部のコンクリートのせり出し、めくり上がりや縦水路、集水枡の亀裂などの変状が認められ、後述の計器変動で観測された傾向と同様で下流側の変状が多く見られた。            上流側では縦水路付近の小段部や枡の亀裂、水路の変状が認められた。</p> <p>(3) 旧国道（斜面末端部）付近の変状            下流側では旧国道山側擁壁の亀裂や川側の護岸工のコンクリートマットの浮き上がりなどの変状が認められた。また、旧国道の路面にも浮き上がりを伴う亀裂などが認められた。</p>	



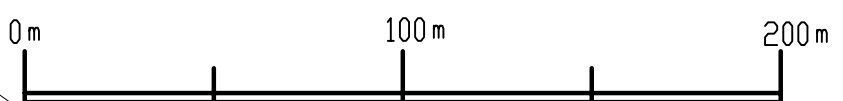
凡 例	
赤	累積変動が見られる計器
青	累積変動が見られない計器
緑	現在実施中の調査ボーリング
桃	変動が見られるが確定できない計器

	崩壊地
	段差
	開口亀裂
	せり出し、ずれ

既 設 対 策 工	
	法面保護工
	アンカー付法枠工
	アンカー工
	鋼管杭工
	押入盛土工
	集水井工
	横ボーリング工

計器	記号
地盤伸縮計	
地盤傾斜計	
孔内傾斜計	
垂直伸縮計	
水位計	
クラックゲージ	
ピン計測	
G P S	

① ~ ⑦⑤ 変状位置番号



1/2,000  
白屋地区 変状分布図